

多賀城市



社協だより

2019. 8
No.62

社会福祉法人 多賀城市社会福祉協議会 〒985-0873 多賀城市中央二丁目1番1号 ☎368-6300



社協は
地域の輪つくりを
応援しています



社会福祉協議会とは？

住民一人ひとりの「地域で安心していきいきと暮らしたい」という願いを実現するために、町内会や福祉団体、ボランティアの協力をいただきながら、福祉のまちづくりに取り組んでいる団体です。

ふれあい まちづくり事業



ふれあいまちづくり事業は、今年で21年目を迎える地域づくりをお手伝いするための多賀城市社会福祉協議会の助成金事業です。

毎年市民の皆さまからご協力をいただいている社協会費や赤い羽根共同募金の配分金を財源にして、市内各地の様々な団体に助成金を出して、地域づくりの活動を応援しています。

平成30年度は、茶話会などのサロン活動や、健康体操教室、料理教室、スポーツ活動、認知症カフェ、子供食堂など、34団体に助成金を交付しました。その中から2つの団体を紹介します。

①あやめ会

あやめ会は、市宮桜木住宅のひとり暮らしの方を中心に仲間づくりや生きがいづくりなどを目的に始まりました。毎月第4木曜日に市宮桜木住宅の集会所を利用し、住宅の住民以外にも近隣の方も参加して、20名くらいで食事会を開催しています。

一人では作る機会の無いメニューだったり、参加者のリクエストを取り入れられています。キッチンはありませんが、効率的に調理が出来て、栄養満点で美味しいレシピを考えて頑張っています。暖かくなる春には野菜の天ぷらとお蕎麦で新しい芽吹きを味わい、暑い夏の時期にはスパイシーな野菜たっぷりカレーで夏バテ予防などいろんな工夫をしながら楽しんでいます。

好き嫌いがあっても一緒に参加したり、足の調子が良くなっても、皆と一緒に料理をして楽しんだりしている方もいます。料理が難しい方も食事が出来るまでおしゃべりしたり、近況を伝え合ったりと、大事な交流の場になっていて、笑い声が絶えない楽しい集まりです。



この日は、食生活改善推進員さんたちと一緒に料理をしました。



② 笠の会



市の交通防災課の交通安全教室に来てもらいました。みんなで赤組と青組に分かれて“交通安全すごろく”で盛り上がりました。



笠の会は、今年で24年目を迎える笠神地区の集まりです。笠神会館を会場に毎月第2水曜日に開催しています。出前講座を聞いたり、多賀モリ体操などで体を動かしたりしてからお昼ごはんを食べます。毎回50名近くの参加者があり、笠神地区の区長さんや民生委員さん、ボランティアさんにお手伝いをしていただきながら活動しています。参加者に美味しいご飯をいっぱい食べてもらうために、地区の方から頂いた季節の野菜などをふんだんに使った献立作りも頑張っています。

24年前の発足当時から長い時間を経て、参加者も会の運営やボランティアさんも大分顔ぶれが変わってきていますが、健康で長生きをモットーに、身近なテーマで一緒に学び、体にやさしく美味しい食事を楽しみ、みんなの笑顔と笑い声の絶えない笠の会はこれからも楽しく活動していきます。



中央地域包括支援センターの
スタッフです。お気軽にご相談ください♪



(右から、宮澤(センター長)、小川、大石、渡邊、荻原)

中央地域包括 支援センター

社会福祉センターの1階、社協事務局の隣にある中央地域包括支援センターは、社協が多賀城市から業務委託を受け、市内の中央部の17の行政区にお住いの市民の方を対象に、介護保険の要介護・要支援者だけでなく、高齢者に対して要介護状態にならないよう介護予防マネジメントを行ったり、介護保険外のサービスを含む高齢者やご家族への総合的な相談・支援を行い、また高齢者虐待などの権利擁護やケマネージャーへの支援などを行う、地域住民や介護事業者の相談受付窓口です。

地域包括支援センターは
地域づくりや
介護予防教室も行って
います!!

①ふらっとよらいん



「ふらっとよらいん」は、みやぎ生協多賀城店の集会所をお借りして、毎月第4金曜日の10時から12時まで開催しています。地域のみなさんと一緒にお茶や珈琲を飲みながら、気軽におしゃべりや相談ができる場所です。毎回ミニ講座も行い認知症についてや熱中症予防などの普段の生活で気を付ける内容から、折り紙やマスコット草履作りなど手先を使うものもあります。

今月は、8月23日(金)に「ダスキンヘルスレント多賀城」さんに福祉用具の説明をしていただきます。お気軽に覗いてみてください♪